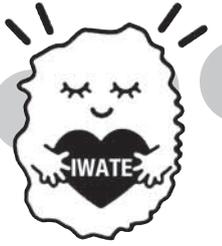


岩手ホスピスの会通信



岩手ホスピスの会（代表：川守田裕司 事務局長：吉島美樹子）

会 員 数／279名（2020.12.9 現在）

編 集 発 行／「岩手ホスピスの会」事務局 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町 13-31 川守田方

TEL：090-2604-7918 FAX：019-653-6447

郵便振替口座／02250-1-60580 E-mail／hospice@eins.rnac.ne.jp

Homepage（岩手ホスピスの会通信） <http://hospice.sakura.ne.jp/>

No. **66**
2021年1月

盛岡市保健所へ一部がん検診の実施を要望

盛岡市のがん患者会盛岡かたくりの会、乳がん患者の会アイリスの会、当会の三団体は、盛岡市での一部がん検診の実施を要望する文書を、12月9日に盛岡市保健所健康増進課に提出しました。

全国の自治体が健康増進法に基づき実施しているがん検診について、全国の道府県所在市と政令市、東京23区の計74市区にアンケートしたところ、盛岡市と秋田市のみが新型コロナウイルスの影響で一部検査（盛岡市は大腸検査と胃の内視鏡検査）を実施できないまま、今年度の実施を断念した、という記事が11月16日付の毎日新聞に掲載されました。

このことを知って私たちは、



盛岡市保健所課長（左）へ要望書を提出

- ①なぜ全国74市区の中で盛岡市と秋田市のみ実施できないのでしょうか。
- ②コロナ禍で医療現場も行政サービスも疲弊されていることは承知しているが、どこに住んでいても検診の機会が平等に確保されるべきであり、一人でも多くの市民が昨年度と同様のがん検診を受けられるよう、一日も早い盛岡市での一部がん検診の実施を希望します。

—というポイントに絞り、要望書を作成しました。

提出の際対応した盛岡市保健所健康増進課・澤口佐知子課長と松澤卓也主査は、

- ①この件について盛岡市医師会から、一部検診を控えるべきという提言書を受取っている。
- ②当該検診を行うと保険診療に影響が出る。保険診療を守るために一部検診実施を断念した。
- ③②以外のその他様々な事情の中で今年度の一部検診実施を断念した。
- ④全国での検診実施状況は毎日新聞の独自調査だが、我々も現在全国の検診状況を調査中。
- ⑤大腸検査などは市によっては2年に一回のところもあり、全国一律ではない。
- ⑥市民の方々は自分の体調に敏感になり自覚症状があれば自主的に検診を受けてください。
- ⑦自主的に開業医での検診を受ければ、開業医～専門病院への連携体制は確保している。

—等と回答しました。

なぜ全国で盛岡市と秋田市のみなのかについて納得できる明確な説明はなく、「今年度中の実施も検討していない」という、主査と課長からの回答でした。

「それ位盛岡市の医療体制はひっ迫しているのか?」「保険診療を守るためとして、すでに医療・治療の優先度決定と選別が始まっているのでは?」という不安を感じました。

回答を受け、今後患者会として何ができるのか、相談していきたいと思います。（2020年12月9日）

タオル帽子クリスマスプレゼント

今年も全国のがん診療連携拠点病院 436 箇所のうち、依頼のあった 39 箇所の病院にタオル帽子総数 3,000 個を発送しました。お送りしたタオル帽子で全国の患者さんが少しでも笑顔になっていただけることを、ボランティア一同願っております。

送付先病院一覧

2020年12月 病院39件 総数 3,000個

- 岩手県** 岩手県立中部病院、岩手県立中央病院、岩手医科大学附属病院、盛岡友愛病院、孝仁病院
- 秋田県** 秋田赤十字病院、大曲厚生医療センター
- 宮城県** 東北大学病院、大崎市民病院
- 福島県** 福島労災病院
- 茨城県** 茨城県地域がんセンター
- 千葉県** 船橋市立医療センター
- 愛知県** 愛知がんセンター
- 三重県** 市立四日市病院
- 岐阜県** 岐阜県総合医療センター
- 石川県** 金沢医科大学病院



帽子の仕分けを行うボランティアさん達



全国の患者さんへ届け！
タオル帽子

- 滋賀県** 市立長浜病院、大津赤十字病院
- 京都府** 京都大学医学部付属病院
- 大阪府** 大阪赤十字病院
- 兵庫県** 関西労災病院
- 鳥取県** 米子医療センター
- 広島県** 広島大学病院、広島市立病院
- 山口県** 山口県立総合医療センター、下関総合病院、徳山中央病院
- 徳島県** 徳島県立病院
- 愛媛県** 愛媛県立中央病院
- 福岡県** 飯塚病院、九州労災病院
- 大分県** 大分大学医学部附属病院
- 長崎県** 長崎みなとメディカルセンター
- 佐賀県** 唐津赤十字病院、佐賀医療センター
- 熊本県** 熊本大学病院、熊本赤十字病院
- 鹿児島県** 済生会川内病院、鹿児島医療センター

あんしん生命様よりタオル帽子が寄贈されました

12月12日、東京海上日動あんしん生命様から当会にがん患者さんのためのタオル帽子1,092個とタオル620枚が寄贈され、同社盛岡支店の中村芳樹支店長から当会に目録が手渡されました。当会のタオル帽子活動に多大なるご支援をいただいているあんしん生命様にあらためて深く御礼を申し上げます。



中村芳樹支店長（左）と共に



盛岡二高タオル帽子作製講習会開催

12月14日盛岡第二高等学校で、タオル帽子講習会が開催され、同校家庭クラブ委員や有志の1年生と2年生計25人が、抗がん剤で脱毛した患者さんを支援するタオル帽子作りを体験しました。

参加者の一人、2年の山本涼夏（りょうか）さんは、「昨年も参加したので、今年は昨年より少し早く縫うことができました。ボランティア活動はこのタオル帽子作製しか知りませんが、機会があれば何かやってみたいと思います。」と話していました。

岩手県がん対策推進協議会レポート

令和2年度第1回岩手県がん対策推進協議会は9月11日盛岡市内で開催され、第3次岩手県がん対策推進計画及び岩手県保健医療計画が6年計画の中間に当たることから、その中間見直しについて協議を行いました。同協議会委員である県内4患者会からは以下の通り質問や意見が出されました。県からの回答は→の通りです。



第1回 岩手県がん対策推進協議会 (2020.9.11)

- ①北上市びわの会高橋委員：県の今年度新規事業として医療用ウイッグの購入費を1台当たり1万円補助するとのことですが、これには乳房補正具も入っていますか？→今後補助を検討する
- ②奥州かたくりの会菅原委員：コロナが落ち着いたら仕事と治療の両立支援の勉強会をスタートさせたいです。
- ③盛岡かたくりの会及川委員：県民に分かりやすい情報提供窓口はどこですか？→県のホームページと冊子「いわてのがん療養サポートブック」
ピアサポートが広まらない原因は？→受け皿となる医療機関や医療従事者の理解、活動の場の確保が遅れている
- ④当会：急速な少子高齢化に伴い今後医療、介護の需要増大が強く懸念されており、これからは患者同士、住民同士の助け合いも重要となると思われる。社協のご近所支え合い事業に参加しながら超高齢社会の自分たちの生き方を模索しているところ。コロナの影響で病院機能が低下しており、在宅看取りが増加しているとのことですが、岩手における在宅看取り、および高齢者施設における看取りの現状は？→コロナにより病院で面会ができない状況から在宅看取りを望む方が増えている。介護施設でも看取りについて研修を行っているところ

また、岩手県保健医療計画（がんの医療体制）及び第三次岩手県がん対策推進計画に係る中間見直し（素案）に対する意見等について、当会より医療政策室に11月29日に意見書を提出しました。コロナ禍においてもがん医療の提供に影響を与えないように、以下の内容を第三次岩手県がん対策推進計画に追加して欲しい、と要望しました。

- ①コロナウイルスの感染対策を強化し、がん患者が必要な時に必要な医療や十分な緩和ケアが受けられる体制を守るため県は可能な限りの施策を講ずる。
- ②コロナ禍においてもがんの二次予防（がんの早期発見、がん検診）に努める他、リモート会議等を積極的に導入し、県は可能な限り緩和ケア医療従事者の育成、患者会相互の情報交換推進に努める。

新年度継続とご支援のお願い

（年会費が一口2,000円になりました）

皆様からのあたたかなご寄付、ご支援をいつも本当にありがとうございます。

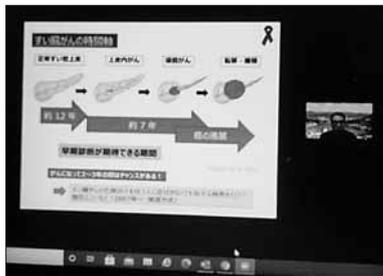
岩手ホスピスの会が、がん患者さんやご家族に寄り添い活動できる支えは、皆様のご支援によるものです。今後も安定した活動を継続するため、ご理解とご支援をお願いいたします。

2021年度会費（2021年1月～2021年12月分）を郵便局にて、振込用紙に住所、氏名を明記の上お振込をお願いいたします。



ご住所の変更があった方はご連絡をお願いします。

年会費：2,000円（複数口可） 郵便振替：02250-1-60580 岩手ホスピスの会



第16回 がん患者大集会に参加

がん患者団体支援機構主催の第16回がん患者大集会が11月22日オンラインで開催され当会も参加しました。

今回のテーマは、「すい臓がんとチーム医療」。がんの中でも早期発見が難しい同がんについて学び、患者、家族、医療関係者等が共に考え理解を深めました。

すい臓がん患者会バンキャンジャパンの眞島喜幸理事長は2006年に実妹を同がんで亡くした体験から、米国の同がん患者会の日本支部を設立しました。毎年推計2万人以上の方が同がんと告知され、30分に一人が亡くなっている現状だが、最近では抗がん剤の種類も増えてきており、ステージ4と診断された患者でも、抗がん剤治療を続けることで手術適応となり、お元気にされている患者さんもでてきているとのこと。

また、近年治療法を組み合わせた新しい治療法が開発され、徐々にすい臓がんの生存率に改善の兆しがみえてきたとのこと。

以下は同会ホームページより、「すい臓がんと診断されたら、ひとりで悩まず、ぜひ当会まで電話してみてください。すい臓がん患者とそのご家族が必要としている情報を提供、または一緒に探します。」

すい臓がん患者会 特定非営利活動法人バンキャンジャパン

本部〒 299-0242 千葉県袖ヶ浦市久保田 2848-4

TEL : 0438-63-9505 FAX : 0438-63-9505 メールによるお問い合わせ : info@pancan.jp

ホームページ : <https://www.pancan.jp/>

がん政策サミット2020 (Zoom オンライン会議) 参加

6年間の全国各県がん対策推進計画の中間評価年にあたる今、各県の同協議会委員がオンラインで一堂に集まり、よりよいがん計画について情報交換、意見交換、振り返り、学び合いを行う「がん政策サミット2020」(特定非営利活動法人がん政策サミット主催)が、11月7日8日の両日、全国の患者関係委員、行政担当者、医療提供者、議員ら50人以上が参加し、当会からも患者関係委員として2名参加し開催されました。

全国各県の委員の情報をパソコン画面上で目の当たりにしながら、岩手のがん対策計画の評価を考える大変有意義な会議となりました。今回のサミットが最終回と告げられましたが、このような情報交換の場が今後も何らかの形で存続することを望みます、と会議終了後主催者に伝えました。



全国のがん対策推進協議会委員がオンラインで一堂に



初めて体験したオンライン会議

岩手ホスピスの会とタオル帽子ボランティアへの メッセージ (2020年5月~12月)

当会のタオル帽子を受け取った全国の皆さんから当会に寄せられたメッセージの一部をご紹介します。2008年6月からスタートしたタオル帽子発送はこれまで102,000個に上っています。今日もどこかでタオル帽子の活動に思いを寄せている方がいます。帽子を作るボランティアの皆さんに深くお礼申し上げます。



*タオル帽子とお言葉ありがとうございました。明日がある事は希望がわいて来ました。病が心も蝕んでいます。タオル帽子をかぶるとほっとする。心も体も温まる。帽子ボランティアの鷹鷲様からのお手紙を保険証の中に入れました。一人(独り)ではない、応援して下さる方もいる。安心お守りです。(愛知県)



*ボランティア新沼様。タオル帽子を作っていただきありがとうございました。肌ざわりがよく何度も何度も使わせていただきました。この帽子のおかげでつらい治療も終わることができました。感謝しております。(神奈川県)

*一つ一つ丁寧に手作りされた温もりがストレスのない被り心地からひしひしと伝わりました。長いことボランティアで困っている人達の為に活動されている皆様がいらっしゃることも初めて知りまして驚きました。これから病状がどうなるかわからない中、気持ちは前向きに治療に向かえそうです。大切に使用させていただきます。心よりありがとうございました。(新潟県)



フェイスタオルご寄付のお願い

皆様にお願ひがあります。ボランティアさんがタオル帽子を作るためのフェイスタオルがとても不足しております。どのようなものでも構いません。ご家庭で眠っているタオルがありましたらぜひご協力をお願いいたします。

〈送付先〉 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町13-31 岩手ホスピスの会宛



内野株式会社
ワイファルト内野さん

これからのタオル帽子講習会・サロン日程

- 2月13日：タオル帽子講習会・サロン
- 3月13日：タオル帽子講習会・サロン
- 4月10日：タオル帽子講習会・サロン

●場所：盛岡市総合福祉センター

●開催時間：午後1時30分から ●問い合わせ先：080-1658-1762

※型紙のコピーはご遠慮願ひます。型紙の必要な方は当会へお問い合わせください。

今年も内野株式会社様からタオル帽子やタオルを多数お送りいただきました。12年前より変わらぬご支援に深く感謝申し上げます。(2020年12月24日)

岩手県内各ホスピス現況

(岩手ホスピスの会調べ)

	孝仁病院 緩和ケア病棟	盛岡赤十字病院 緩和ケア病棟	盛岡友愛病院 緩和ケア病棟
住 所	盛岡市中太田泉田 28	盛岡市三本柳 6 地割 1 番地 1	盛岡市永井 12-10
電 話	019-656-2888 医療福祉相談室	019-637-3111 (代表) 緩和ケア相談室 内線 338	019-638-2222 (代表) 医療相談室 緩和ケア担当 内線 185
病 床 数	10 床	22 床 (全室個室)	18 床
ベ ッ ド	無料個室 8 床 有料個室 2 床	無料 12 室 有料 10 室	個室 10 床のうち 9 床が有料 4 床室無料
ベ ッ ド 料	1 日 3,300 円	1 日 5,500 円・11,000 円	1 日 5,500 円
看 護 師 数	16 名 + 看護補助者 1 名	21 名 + 看護補助者 2 名	17 名 + 看護補助者 5 名
ホスピス医	米山幸宏	青木毅一、畠山元、旭博史	藤井祐次
看 護 師 長	端坂吉恵	木下香代子	上山志鈴江
入 院 審 査 を 受 け る に は	医療福祉相談室にご相談ください。 月～水・金・土曜 9:00～17:00 木曜 9:00～12:30	緩和ケア相談室へお問い合わせ ください。 月～金曜 9:00～16:00	医療相談室まで。 019-638-2222 (代表) 月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～12:30 (第 2・4 土曜は不可)
審 査 日	随時	随時	随時
ホスピス入院 平均待機者数	0～3 名	0	0～2 名
ホスピス入院 平均待機期間	状況により数日～2 週間 重症者優先	外来受診後、平均 5 日	個室は 2 週間程度 大部屋希望の 場合は 1 週間程度 (大部屋は希望 が多いため、患者さんの意向を確認 後、一般病棟で待機する場合があります)
利 用 者 内 訳	盛岡市周辺がほとんど (8 割以上)	盛岡市周辺の方がほとんど	盛岡市周辺の方がほとんど
緩和ケア外来	診察日: 月～水・金 8:30～16:30 木・土 8:30～11:30 担当医: 米山幸宏	診察日: 火・水・木 14:30～16:00 要予約 担当医: 青木毅一、畠山元、 旭博史	診察日: 火・水・木 (AM・PM) 要予約 担当医: 藤井祐次
ホスピスボ ランティアの 人 数 と 活 動	登録者 7 名 ホスピスボランティア募集中 019-656-2888	病院ボランティア登録者 25 名。 うち 23 名がホスピスで活動。 ※現在、コロナの影響で休止中	年 1 回程度イベント時活動
遺 族 会 の 名 称 と 連 絡 先	名称: ひだまりの会 年 2 回開催 連絡先: 緩和ケア病棟 端坂	ハナミズキの会 緩和ケア病棟 年 1 回開催 ※現在、コロナの影響で休止中	設置未定
入 院 料	定額制 (3 段階…診療報酬上の緩和ケア病 棟入院料に準じます) 保険適用	定額制です。 入院日数によって 3 段階での算定 です。	定額制。入院期間により 3 段階。 患者さんの自己負担額は加入してい る保険等により異なる。 各種医療保険適用、医療費の他に 食事代別途徴収。
ペットの同伴	面会可能。宿泊不可。要相談。	面会は可能。宿泊や飼育は不可	面会のみ可能。条件あり。 要申請。
麻 酔 医 と の 連 携	必要時可能	硬膜外ブロックなどを行う場合など に連携あり。	なし

(2020年12月現在)

詳細は各病院に直接お問合せ下さい)

岩手医科大学附属病院 緩和ケア病棟	岩手県立磐井病院 緩和ケア病棟	岩手県立中部病院 緩和ケア病棟	美山病院 緩和ケア病棟
紫波郡矢巾町医大通2丁目1番1号	一関市狐禅寺字大平17番地	北上市村崎野17地割10番地	奥州市水沢羽田町字水無沢495-2
019-613-7111 (代表) 緩和ケアセンター 内線 3223	0191-23-3452	0197-71-1511	0197-24-2141
25床	24床 (個室20、2床室2)	24床 (個室18、2床室3)	20床 (全室個室)
無料個室17床 有料個室8床	無料17床 有料7床	有料個室10床、無料室14床	無料20室
1日18,700～25,300円	1日3,130～6,490円	1日3,300～13,420円	無料
27名+看護補助者1名	18名+看護補助者1名	17名+補助3名	17名+ケースワーカー1名+看護補助者5名
木村祐輔、鴻巣正史	平野拓司	星野彰、桐生幸歩、綿引奈苗	及川司
高島みゆき	佐藤絹子	工藤光子	小林洋子
緩和ケアセンターに 相談ください。 019-613-7111 内線 3223 月～金曜 8:30～17:00	0191-23-3452 (入院相談等) がん相談支援センター 相談時間:平日8:30～17:15	0197-71-1511 (入院相談他) がん相談支援室 相談時間:平日9:00～16:00	入院相談 (担当:ケースワーカー) 後面談 入退院検討会 (医師、薬剤師、 栄養士、看護師、理学療法士 で構成)
週2回を予定	随時	随時	随時(その後ベッドが空くまで待機)
0～3名	0	3～4名	0
状況により数日～1週間程度	数日 (緊急対応可)	待機期間は同院一般病棟や 近隣の病院、連携のとれている 訪問診療で対応	0
盛岡市周辺の方が多い	一関市周辺や宮城県北の方が ほとんど	花巻北上周辺の方が8割以上 その他は奥州、盛岡等	奥州市周辺の方がほとんど
診察日:月～金、要予約 担当医: 木村祐輔、鴻巣正史	診察日:月～金、要予約 担当医:平野拓司	診察日:月～金の午前、 要予約 担当医:星野彰	診察日:水、要予約 担当医:及川司
実績無し 活動検討中	ボランティアコーディネーター 1名、ボランティア12名 活動:ティータイム、季節の行事、 がん患者サロン(こころば)	登録者67名。 活動内容:お茶会・歌っこの会・ アロマ・生け花・季節のイベン ト企画	現在登録者5名で活動中。 ホスピスボランティアを 随時募集中
設置未定	偲ぶ会 (連絡先:緩和ケア病棟) 当院緩和ケア病棟でお亡くなり になった方のご遺族の方のみ 年1回開催	偲ぶ会 緩和ケア病棟 (0197-71-1511) 当院緩和ケア病棟でお亡くなり になった方のご遺族の方のみ 年1回開催	しちせき 七夕の会 緩和ケア病棟 (0197-24-2141) 当院緩和ケア病棟でお亡くなり になった方のご遺族の方のみ これまでに4回開催
定額制 (診療報酬上の緩和ケア病棟 入院料に準じ入院期間により 3段階) 保険適応	定額制(入院期間により3段階) ただし、定額に含まれない加算 や有料個室の料金等は別途追 加になります。	定額制(入院期間により3段階) ただし、定額に含まれない加算 や有料個室の料金等は別途追 加になります。	定額制 3段階になります。
面会のみ可能。条件有。 要申請	一時的な面会のみ可能	面会可能。宿泊不可	面会可能。宿泊不可
必要時可能	なし	院内ペインクリニックと連携	麻酔医が非常勤なので頻度は 少ない。

岩手のがん相談支援センター・岩手県立胆沢病院

「がん相談支援センター」は全国の「がん診療連携拠点病院」や「小児がん拠点病院」、「地域がん診療病院」に設置されている、がんに関する相談窓口です。

当院では平成21年に地域がん診療連携拠点病院として「がん相談支援室」を設置し、平成26年から「がん相談支援センター」へと名称変更しました。

当院のがん相談支援センターでは、がんの相談員研修を受けた相談員4名が対応させていただいており(R2年12月現在)、年間約500件の相談をいただいております。がん相談支援センターは、当院に通院されている患者さんやご家族はもちろん、当院に通院されていない方の相談も可能となっております。地域にお住まいの方や匿名でのご相談もお受けしておりますので、おひとりでお気軽にご相談ください。

また、ご相談は面談だけではなく、電話でもお受けしています。ただし、お待たせすることもありますので、事前にご予約いただくことをおすすめしています。

「がん相談」と耳にすると、「このようなことを相談していいのだろうか…」「どこに相談すればいいのだろうか…」と不安に思われる方もいらっしゃるかもしれません。当院では「医療費や生活費等の経済的なこと」、「今後の療養先のこと」についてのご相談を多くいただいておりますが、そのほか緩和ケアのこと、セカンド・オピニオンのことなどどのようなことでも構いません。気になることがございましたら、ぜひご相談ください。



面談の様子



がん情報コーナー

また、当院のがん相談支援センターでは、奥州市立水沢図書館と連携させていただき、図書館におけるがん情報コーナーの設置に向け準備中です。より多くの方々にがんに関する情報、がん相談支援センターを知っていただければと思っています。

岩手県立胆沢病院 地域医療福祉連携室
医療社会事業士(MSW) 川崎 智絵美

お問い合わせ先

岩手県立胆沢病院 がん相談支援センター(1階 医療相談室内)

電話番号: 0197-24-4121 (内線 1066)

利用時間: 平日 9:00~17:00 相談方法: 面談もしくは電話にて

タオル帽子を作りたい方へ

※タオル帽子を作りたい方へ型紙をお譲りしています。申し込み方法: はがきかメールで。

※メールアドレス: hospice@eins.rnac.ne.jp

はがき: 〒031-0823 青森県八戸市湊高台 6-4-22 吉島方「岩手ホスピスの会」

***** 岩手ホスピスの会活動日誌 *****

2020年5月～12月

5月9日	第5回役員会、タオル帽子サロン・講習会、通信発送作業(盛岡市総合福祉センター、32名)
5月19日	がんの痛みアンケート集計打ち合わせ(盛岡市内、3名)
5月23日	盛岡市孝仁病院腫瘍内科にタオル帽子50個寄贈(同院、2名)
5月25日	盛岡タイムスにてがんの痛みアンケートの内容について取材を受ける(同社、2名)
5月31日	全国のがん診療連携拠点病院へタオル帽子発送(盛岡市タオル帽子倉庫、2名)
6月6日	東日本大震災被災地支援活動陸前高田市滝ノ上仮設草刈り(コロナの影響を考慮し中止)
6月13日	第6回役員会、タオル帽子サロン・講習会(盛岡市総合福祉センター、26名)
7月11日	第7回役員会、タオル帽子サロン・講習会(盛岡市総合福祉センター、27名)
8月8日	第8回役員会、タオル帽子サロン・講習会(盛岡市総合福祉センター、25名)
8月17日	タオル帽子倉庫作業(盛岡市タオル帽子倉庫、4名)
9月5日	がん患者さんのための栄養講座(盛岡市総合福祉センター、コロナの影響を考慮し中止)
9月11日	第26回岩手県がん対策推進協議会参加(盛岡市岩手医科大学記念館、3名)
9月12日	第9回役員会、タオル帽子サロン・講習会(盛岡市総合福祉センター、26名)
10月10日	第10回役員会、タオル帽子サロン・講習会(盛岡市総合福祉センター、22名)
10月17、24日	タオル帽子倉庫作業(盛岡市タオル帽子倉庫、4名)
11月7日	第11回役員会(盛岡市総合福祉センター、8名)
11月7、8日	がん政策サミット2020 Zoom オンライン会議参加(オンライン参加、2名)
11月15日	第11回タオル帽子サロン・講習会(盛岡市総合福祉センター、17名)
11月23日	第16回がん患者大集会参加(オンライン参加、1名)
11月28日	全国のがん診療連携拠点病院へタオル帽子発送作業(盛岡市タオル帽子倉庫、6名)
11月29日	第3次岩手県がん対策推進計画に係る意見書を同県医療政策室へ送付(盛岡市内、2名)
12月9日	盛岡市保健所健康増進課に盛岡市での一部がん検診実施に関する要望書提出(同課、3名)
12月12日	第12回役員会、タオル帽子サロン・講習会、あんしん生命タオル帽子贈呈式 (盛岡市総合福祉センター、25名)
12月14日	盛岡市立第二高等学校タオル帽子講習会(盛岡市同校、6名)

「岩手ホスピスの会」がん相談窓口



開設日	毎月第2土曜日 午後1時30分～4時(月により変更あり) 相談無料
場所	盛岡市若園町総合福祉センター内 タオル帽子サロン会場(月により変更あり)
内容	電話相談：がん全般についての相談に対応致します。 直接面談：上記会場においていただき対応 ※事前にお電話いただければ、相談内容に合ったスタッフが対応致します。
問合せ	岩手ホスピスの会 090-2604-7918

がん患者さんのための栄養講座 パート 25

岩手県立胆沢病院 がん病態栄養専門管理栄養士 蛇口 真理子



寒さが厳しい毎日ですが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

昨年12月から、胆沢病院では新しい取り組みとして、外来化学療法患者さんを対象に栄養サポートを開始しました。数年前、胆沢病院で外来化学療法を受けている患者さんにご協力をいただき「化学療法中の副作用と食事について」のアンケートを実施しました。結果では、副作用があり食事が進まないと回答した方が26%、副作用の有無に関わらず管理栄養士に食事について聞いてみたいと回答した方は69%でした。しかし、管理栄養士の介入があったのは15%と僅かでしたが、関わった患者さんからは、「栄養指導と言われると食事制限されると思っていた。食べやすい食事を教えてくれることが解かり、よかった」と感想も聞かれました。栄養指導は、食事制限ではなく疾患に応じた食事の提案であることを知って頂くことも必要だと感じました。

外来化学療法室での栄養サポートは始まったばかりですが、今後、活動の様子を皆さんに紹介できればと思います。

今回は、化学療法の方の副作用としてよく挙げられる食欲不振時の料理を紹介します。

★食欲不振時の食事のポイント★

食事時間にとらわれず、食べたい時につまめるものを用意しておく。

巻きずし、サンドイッチ、飲むゼリーなど

あつさりふわふわの和風かに玉あんかけ (1人前 135 kcal)

材料 (1人前)	分量	
卵	1個	
長芋	20g	
長ネギ	10g	
カニ風味かまぼこ	10g	
塩	0.4	
サラダ油	小さじ1/2	
A	しょうゆ	小さじ2/3
	砂糖	小さじ1/4
	酢	適量
	片栗粉	3g
	水	30ml

作り方

- ① かに風味かまぼこは手でほぐし、短く切る。
- ② 長芋をすりおろす。
- ③ 卵は割り溶きほぐし、1、2と長ネギ・塩を混ぜ合わせる。
- ④ フライパンにサラダ油を入れ、熱し、3を流し入れて大きくかき混ぜながら形を整える。縁が固まってきたら裏返してさっと焼き器に盛る。
- ⑤ Aの分量を器に入れ、ラップなしで1分電子レンジにかける。
- ⑥ 4に5をかけて完成。



ポイント

長芋が入ることふわふわの食感になります。

酢はお好みで調整してください。

参考文献：「がん研有明病院の肝臓がん・胆道がん・膵臓がん治療に向き合う食事」女子栄養大学出版

いのちの山河～日本の青空Ⅱ～ 上映会のお知らせ

2月27日(土)盛岡劇場メインホールにおいて、映画「いのちの山河」上映会を開催する予定です。この映画は、長く無医村であった岩手県沢内村(現・西和賀町)の「豪雪、多病、貧困」を克服し、生命尊重の理念を掲げ、乳児死亡率ゼロ、老人と乳幼児の医療費無料で全国の先駆け的存在となった故・深沢晟雄村長の実話ドキュメントです。



本県で初めて高齢化率50%を突破し(2020年10月1日現在)、次年度より町から路線バスが全面撤退予定、町営温泉などの公共施設運営が困難となる等、相次ぐ受難続きの西和賀町ですが、全国に誇るべき過去の実績と、現在の超高齢社会を象徴するような苦悩する現在の西和賀町の姿から、多くのことを学べると思います。「いのち」に格差があってはならない」の言葉通り、がん患者さんや高齢者等社会的弱者が決して不幸になることなく、ともに助け合って生きていくために、本映画を見ながら今後超高齢社会において私たち一人一人にとって何が大切なのかを見極めることができれば幸いです。コロナ禍の続く折、状況によっては開催中止の可能性もありますが、できる限り上映したいと願い準備を進めております。皆様のご来場をお待ちしております。

療養が直近5年以内のがん患者「痛み取れた」77%

岩手ホスピスの会
アンケート

進む緩和医療を反映 ケアへの理解は道半ば

岩手ホスピスの会(川守田裕司代表)はこのほど、県内のがん患者会などの協力を得て、がんの痛みに関するアンケートを実施した。療養した時期が直近5年以内と5〜30年前に分類して結果を分析した結果、療養した時期にかかわらず、約半数が、がんの痛みや苦痛を感じている。ただ、5年以内の患者では30%が「苦痛なし」と回答。さらに、痛みや苦痛があった場合でも自身のケアによって77%が「ほとんど取れた」「ある程度取れた」と回答しており、緩和医療の進歩もつかえる。緩和ケアに対する正しい理解の広がりは道半ばだが、がん医療を取り巻く環境をさらに良いものにしていくよう調査結果を生かしていきたいとしている。

アンケートは昨年5〜12月に実施。県内のがん患者会の会員をはじめ、同会主催の講演会の参加者ら、がん患者やその家族、計106人(男性35人、女性71人)から回答を得た。回答のうち、がんの療養が直近5年以内の人が37人、5〜30年前の人が69人。療養中のがんの痛み・苦痛症状が「とてもあった」「時々あった」人の割合は、療養時期によってほとんど差はなく、全体の52%だった。ただ、闘病中の「苦痛なし」と答えた人は、5年以内の人で全体の30%、5〜10年前に闘病した人で17%と改善がみられる。痛みや苦痛は、がんそのものの痛みだけでなく、「食欲不振」「体重減少」「だるさ」「吐き気」「便秘」「不安や気分の落ち込み」など多岐にわたっており、複合的なつらさが心身の負担となっていることが裏付けられた。痛み・苦痛を医師や看護師に「いつも伝えたい(伝えられた)」人は全体の39%。療養時期が5〜30年前の人は33%だったが、5年以内の人は52%に伸びており、患者が伝えやすい環境に改善されつつある。

がんの痛みのアンケート結果を考察する岩手ホスピスの会の浅田京子さん(左)と佐々木順子さん





さまざまなデザインのアール帽子を手作りするボランティア

支援の帽子10万個超へ

アール帽子サロンが開か 約20人のボランティアが会
れた10日、盛岡市若園町の話をしながら針仕事をし
市総合福祉センターでは、た。同じ会場で看護師らに

岩手ホスピスの会

がん患者のサポート活動を行う岩手ホスピスの会（川守田裕司代表）は、
脱毛に悩む患者の帽子の寄付が今年で10万個を超えそうだ。活動を始めて13
年目、新型コロナウイルスの影響を受けながらも継続して手作りし全国の病
院に送り続ける。12月にはクリスマスプレゼントとして3千個を発送予定で、
材料となるアールの寄付とボランティアを募集している。

がん患者に寄付13年 材料、ボランティア募る

よる医療相談会も開かれ、患者とボランティア、医療従事者をつなぐ場にもなっている。
北松園中1年の三国亜理さんは「裁縫が好きなので面白い」、姉で盛岡四高2年の明日果さんは「使う人に笑顔になってもらいたい」と願い針を動かした。
活動を2008年6月に開始して以来、毎月サロンを開きアール帽子を製作。依頼のあった全国の病院に向けて年2回発送し、10日までに9万8910個を送った。
依頼が多い反面、材料のアールが不足している。有休品をハザーで売りアール購入資金に充てているが目標数に届いていない。
同会の吉島美樹子事務局長(59)は「未使用でかぶる人が喜ぶようなアールの寄付に協力してほしい」と呼び掛け、「多世代に活動を広げて思いを患者さんに届けたい」とボランティアも募る。
サロンは毎月第2土曜日午後1時半～同4時。問い合わせは同会事務局(090・2604・7918)へ。
(山本直樹)

岩手日報
2020年
10月17日掲載

岩手ホスピスの会

がん患者支援に理解

アール帽子製作 盛岡二高で講習会

岩手ホスピスの会 瑛留さんは、ともに製を届けることができ
(川守田裕司代表)は 作に初挑戦。鎌田さん
14日、盛岡市上ノ橋町は「祖母が白血病で同んは「自分が作った帽
の盛岡二高(小原貴人)じような帽子をかぶっ 子に困っている人の役
校長、生徒606人) ていたので、必要とし に立つてほしい。多く
で、がん患者のための われて良かった」と振 参加してほしいと思
アール帽子製作講習会 り返る。赤澤さんは「簡 う」と語る。
を開いた。新型コロナ 単にアールから帽子に 指導に当たった同会
ウイルス対策として例 できてすごい。ボラン の吉島美樹子事務局長
年よの人数を絞り、家 ティアという形で帽子 (60)は「新型コロナウイルス
庭クラブ委員や有志の 1、2年生25人が参加。 期待を込めた。
指導を受けながらアール 帽子は、クリスマスに
帽子を手縫いし、がん 合わせて盛岡市内の病
ん患者支援への理解を 院に届けられる。

アール帽子は、抗がん剤の副作用で脱毛に苦しむ患者のために考案された。同会のアール帽子配布活動は2008年6月に開始し、これまで10万2千個を全国のがん診療連携拠点病院に発送した。
同校での製作講習会は4年目。裁断済みのアールが用意され、同会のアール帽子作りボランティアらが指導した。生徒らは針と糸の扱いに苦戦する場面もあったが、徐々に慣れ、互いに教え合いながら、一人一つのアール帽子を完成させた。
2年の鎌田雅さん、赤澤菜穂さん、山内乃



協力してアール帽子作りに取り組む生徒たち